

メールアカウントの設定の確認や変更

STEP 1 アカウント設定の確認

画面左上部の [ファイル] を選択します。

次に左メニューの [情報] を選択し、設定を確認・変更したいアカウントが選択された状態で [アカウント設定] から設定変更したい内容を選択します。

それぞれ、必要な情報を修正し [次へ] をクリックすると、設定内容に問題がなければ Outlook の設定情報が更新されます。

アカウント情報

example@
POP/SMTP

+ アカウントの追加

アカウントの設定

このアカウントの設定を変更、または追加の接続を設定します。

- [iOS または Android 用の Outlook アプリ入手](#)

- アカウント設定(A)...
アカウントを追加または削除するか、既存の接続設定を変更します。
- パスワードを更新(U)
Outlook に保存されているアカウントのパスワードを更新します。
- アカウント名と同期の設定(N)
アカウント名などの基本的なアカウントの設定とフォルダーの同期の設定を更新します。
- サーバーの設定(S)
サーバー名、ポート、認証の設定など、ログオン情報を更新します。
- プロフィールの変更(P)
Microsoft Outlook を再起動して、別のプロフィールを選択します。
- プロフィールの管理(Q)
プロフィールを追加または削除するか、既存のプロフィール設定を変更します。

型を利用して、メールボックスのサイズを管理します。

信メール メッセージを整理し、アイテムが追加、変更、また取ります。

ドインの表示

DM アドインを管理します。

パスワードを更新



パスワードを更新(U)

Outlook に保存されているアカウントのパスワードを更新します。

- パスワード：サーバーのコントロールパネルからパスワードを変更された場合など、Outlook に設定したパスワードを更新できます。

※パスワードは「サーバーの設定」からも変更できます。

パスワードの更新

example@

パスワード

次へ

アカウント名と同期の設定



アカウント名と同期の設定(N)

アカウント名などの基本的なアカウントの設定とフォルダーの同期の設定を更新します。

- 自分の名前：メールの送信者名・差出人名の表示
- アカウント名：Outlook 内での表示名
- 返信先アドレス：Reply-toとして使用されるメールアドレス ※基本的には空欄で問題ありません
- 組織：会社名などを設定したい場合はこちらに入力
- メールの設定（POP）：サーバーにメッセージのコピーを残す などの設定が行えます
- メールの設定（IMAP）：サーバーへの同期（送信済みアイテムのコピーの保存）などの設定が行えます

POP 接続の場合

POP アカウントの設定
example@

全般設定

自分の名前	差出人名 (任意)
アカウント名	example@ 例: "職場" または "Microsoft アカウント"
返信先アドレス	
組織	

メールの設定

サーバーにメッセージのコピーを残す

サーバーから削除する 日後

[削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除

メールの設定をリセット 次へ

IMAP 接続の場合

IMAP アカウントの設定
example@

全般設定

自分の名前	差出人名 (任意)
アカウント名	(IMAP)example@ 例: "職場" または "Microsoft アカウント"
返信先アドレス	
組織	

フォルダー設定

ルート フォルダーのパス

メールの設定

メールをオフラインで保存 すべて

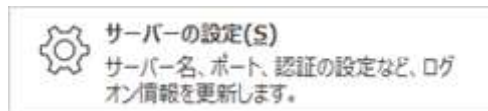
送信済みアイテムのコピーを保存しない

アイテムを削除対象としてマークするが、自動的には移動しない
削除対象としてマークされたアイテムは、メールボックス内のアイテムが
消去されたときに完全に削除されます。

オンライン中にフォルダーを切り替えたらアイテムを消去する

メールの設定をリセット 次へ

サーバーの設定



- ユーザー名：サーバーのログオンユーザー名
- パスワード：メールアドレスのパスワード
- サーバー：受信サーバー／送信サーバー名を変更できます
- 暗号化方法：SSL 接続の設定を変更できます
- 送信サーバー（SMTP）は認証が必要：送信認証（SMTP Auth）の設定を変更できます

POP 接続の場合

POP アカウントの設定 example@

受信メール ▲

ユーザー名 example@
パスワード *****
 パスワードを保存する

サーバー 995 ポート 995

このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要
 セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要

送信メール ▼

次へ

POP アカウントの設定 example@

送信メール ▲

サーバー 465 ポート 465

暗号化方法 SSL/TLS *

サーバーのタイムアウト

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要

送信 (SMTP) サーバーには認証が必要です

受信メール サーバーと同じ設定を使用する
 ユーザー名とパスワードを使用してログオン
 メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする

次へ

IMAP 接続の場合

IMAP アカウントの設定 example@

受信メール ▲

ユーザー名 example@
パスワード *****
 パスワードを保存する

サーバー 993 ポート 993

暗号化方法 SSL/TLS *

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要

送信メール ▼

次へ

IMAP アカウントの設定 example@

送信メール ▲

サーバー 465 ポート 465

暗号化方法 なし *

サーバーのタイムアウト

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要

送信 (SMTP) サーバーには認証が必要です

受信メール サーバーと同じ設定を使用する
 ユーザー名とパスワードを使用してログオン

次へ